



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	6,661	0.9	100	△40.9	125	△38.2	38	△69.2
30年2月期第2四半期	6,599	△1.4	170	△34.8	202	△30.3	126	△16.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	12 74	—
30年2月期第2四半期	41 36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	6,735	4,085	60.6
30年2月期	6,581	4,077	62.0

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 4,085百万円 30年2月期 4,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0 00	—	10 00	10 00
31年2月期	—	0 00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,250	2.7	166	△16.8	221	△12.4	66	△25.5	21 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	3,660,400株	30年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	599,679株	30年2月期	600,879株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	3,059,964株	30年2月期2Q	3,059,544株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益に支えられ、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復基調がみられる一方、米中貿易摩擦及び東アジアの動向における金融市場や一部通貨の不安定な変動が懸念され先行き不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、人手不足及び採用難による人件費及び採用費の上昇、消費嗜好の多様化等の業界を取り巻く環境変化に対応した顧客獲得競争など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開を行っております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ザめしや」ではまぐろ漬けごはんの販売及び鉄板焼フェアやざるそばフェアを実施し、「街かど屋」では高級感のある重や、牛肩ロースカットステーキ定食の販売のほかスタンプがたまるとお食事券としてご利用いただけるスタンプラリーカードの配布を開始しました。「めしや食堂」では夏野菜カレー等の月替わりカレーの販売、「讃岐製麺」では肉ぶっかけフェアやカレーざるフェアを実施し、カレーのざるうどん等を販売いたしました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が3店舗となった結果、店舗数は128店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は6,661,962千円（前年同四半期比 0.9%増）、営業利益は100,980千円（前年同四半期比 40.9%減）、経常利益は125,316千円（前年同四半期比 38.2%減）、四半期純利益は38,971千円（前年同四半期比 69.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,798,952千円（前事業年度末は3,624,258千円）となりました。有形固定資産は、新規出店数が予定を下回ったことや既存店舗の減損損失による特別損失の計上で1,366,533千円（前事業年度末は1,383,041千円）、投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により1,469,774千円（前事業年度末は1,464,800千円）となり、資産の部合計は、6,735,647千円（前事業年度末は6,581,700千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等により1,701,306千円（前事業年度末は1,490,894千円）となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により949,196千円（前事業年度末は1,012,967千円）となり、負債の部合計は2,650,502千円（前事業年度末は2,503,862千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により4,085,145千円（前事業年度末は4,077,837千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は60.6%（前事業年度末は62.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店2店舗で当事業年度末の店舗数は131店舗を予定しております。

当事業年度の業績予想としましては、売上高は13,250,896千円（前年同期比2.7%増）、営業利益は166,629千円（前年同期比16.8%減）、経常利益は221,287千円（前年同期比12.4%減）、当期純利益は66,056千円（前年同期比25.5%減）を見込んでおります。

売上高は前回予想の13,387,966千円から137,070千円の減少となる見込みであります。これは第2四半期累計期間で豪雨等天候不順の影響もあり既存店売上高が減少したことや、新規出店の予算が4店舗に対して実績は3店舗となったことが減少要因となりました。また、原材料価格や人件費の高騰で営業利益及び経常利益、当期純利益は、前回予想に対し営業利益は88,155千円の減少、経常利益は94,115千円の減少、当期純利益は39,714千円の減少となる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,146,996	3,306,417
売掛金	9,473	16,346
商品	262	252
原材料及び貯蔵品	50,486	55,146
繰延税金資産	92,099	88,433
その他	324,939	332,354
流動資産合計	3,624,258	3,798,952
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,201,917	1,193,390
その他	181,123	173,143
有形固定資産合計	1,383,041	1,366,533
無形固定資産		
投資その他の資産	109,601	100,388
投資その他の資産		
差入保証金	905,823	904,130
繰延税金資産	261,993	270,090
その他	297,493	296,063
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,464,800	1,469,774
固定資産合計	2,957,442	2,936,695
資産合計	6,581,700	6,735,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,759	456,769
1年内返済予定の長期借入金	104,742	104,748
未払法人税等	92,775	96,259
賞与引当金	123,330	102,038
その他	808,287	941,490
流動負債合計	1,490,894	1,701,306
固定負債		
長期借入金	168,251	115,876
長期預り保証金	98,712	98,536
退職給付引当金	457,361	471,397
役員退職慰労引当金	52,416	44,249
その他の引当金	1,665	1,167
その他	234,560	217,969
固定負債合計	1,012,967	949,196
負債合計	2,503,862	2,650,502

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	857,938	864,315
自己株式	△156,153	△155,222
株主資本合計	4,077,837	4,085,145
純資産合計	4,077,837	4,085,145
負債純資産合計	6,581,700	6,735,647

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	6,599,729	6,661,962
売上原価	2,143,544	2,192,907
売上総利益	4,456,184	4,469,054
販売費及び一般管理費	4,285,429	4,368,074
営業利益	170,754	100,980
営業外収益		
受取利息	1,848	2,022
有価証券利息	-	788
受取家賃	81,883	82,802
その他	29,231	21,385
営業外収益合計	112,962	106,998
営業外費用		
支払利息	1,843	1,489
賃貸収入原価	78,512	79,119
その他	722	2,053
営業外費用合計	81,079	82,662
経常利益	202,638	125,316
特別損失		
有形固定資産除却損	1,653	1,387
減損損失	4,569	38,961
特別損失合計	6,222	40,348
税引前四半期純利益	196,415	84,968
法人税等	69,877	45,996
四半期純利益	126,537	38,971

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。